

1. 全体評価

(1) 全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度	
森林整備の推進	高性能林業機械等の整備	間伐材の利用量(増加率)	54,000	m3	H29	120,000	m3	R4	報告年度未到来のため該当無し			
		間伐材の生産性(目標値)	3	m3/人・日	H29	5	m3/人・日	R4				
森林の多様な利用・緑化の推進												
優良種苗の確保	コンテナ苗生産基盤施設等の整備		0	本	H29	50,000	本	R4	報告年度未到来のため該当無し			
望ましい林業構造の確立												
特用林産の振興												
木材利用及び木材産業体制の整備推進	木質バイオマス利用促進施設の整備	①地域材利用量(①-1増加量、①-2増加率)	54,000	m3	H29	120,000	m3	R4				
		②木質バイオマス利用量(②-1、②-2増加率)	2,090	m3	H29	12,155	m3	R4				
		③未利用間伐材利用率	3	%	H29	-	%	R4	報告年度未到来のため該当無し			
		④補助金によらない木質バイオマスボイラー整備率	100	%	H29	-	%	R4				
山地防災情報の周知												
森林資源の保護	森林資源保護の推進(野生鳥獣被害防除)	ニホンジカ・ツキノワグマによる森林被害面積	246	ha	H29	221	ha	H30	150	284%	R1	滋賀県森林保全課調べ(R1.5 森林被害年報)
森林資源の保護	森林環境保全の推進	森林保全推進員1人あたりの巡視対象面積の減少(ha/人)	3,068	ha/人	H29	2,700	ha/人	H30	3346	-76%	R1	滋賀県森林保全課調べ(H31.4 林野火災発生時の通報連絡体制)県統計要覧
林業担い手等の育成確保	担い手確保・育成対策	認定事業体数	15	事業体数	H29	15	事業体数	H30	15	100%	R1	H31.3.31現在の認定事業体数
林業担い手等の育成確保	担い手確保・育成対策	新規就業者数	19	人	H29	20	人	H30	32	160%	R1	累積人数(県統計要覧)
林業担い手等の育成確保	林業労働力災害撲滅プロジェクト	労働災害発生件数(減少率)	10	件	H29	10	件	H30	15	67%	R1	厚生労働省統計
市町村広域連携支援												

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績/目標値とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、本要領第7の1に基づくこと。
- 5 行については、適宜加除すること。

(2)総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
森林整備の推進		
森林の多様な利用・緑化の推進		
優良種苗の確保		
望ましい林業構造の確立		
特用林産の振興		
木材利用及び木材産業体制の整備推進		
山地防災情報の周知		
森林資源の保護：森林資源保護の推進（野生鳥獣被害防除）	・シカ被害の防除・駆除等の積極的実施により、林業被害が減り、目標を達成した。	課題：防除・駆除等の積極的実施により被害が減少し、目標を達成することができた。引き続きテープ巻き等の防除対策の実施とともに頭数管理を適切に行う必要がある。 解決策：テープ巻き等による徹底した防除と積極的駆除を実施していく。
森林資源の保護：森林環境保全の推進	・森林保全推進員の減少により、目標に対するマイナスの達成状況となり、決して良好とは言えないが、本事業により配置している森林保全巡視指導員の活発な活動により、推進員の活動の質は向上している。 ・森林災害や森林法違反行為の予防および早期発見その他森林保護に関して、着実な成果があがっている。	・森林保全推進員の活動については、地域等によりバラツキがある。 ・森林保全巡視指導員による更なる働きかけを行い、活動全体のレベルアップを図る。
林業担い手等の育成確保	・林業労働力確保支援センターが実施する林業労働力育成対策協議会の開催等により、着実に新規就業者数は増加している。 ・一方、安全衛生指導員等により巡回指導等を実施しているものの、結果として林業労働災害は増加した。	・引き続き新規就業者数の確保に努める。 ・林災防滋賀県支部や厚生労働省等と連携した安全講習会を開催するなど、安全対策を強化する。
市町村広域連携支援		

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記述するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記述すること。
- 2 報告年度については、本要領第7の1に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記入すること。
- 4 行については、適宜加除すること。

2. 個別事業評価
森林整備・林業等振興整備交付金

上段:各年度目標値
中段:各年度実績
下段:達成率

(1) 施設の利用状況

目標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	個別指標 (目標値)	達成状況					備考
							1年目 (平成30年度)	2年目 (令和元年度)	3年目 (令和2年度)	4年目 (令和3年度)	目標年度 (令和4年度)	
森林整備の推進	高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備【森林整備型】	滋賀南部森林組合	グラップル1台	平成29年度	間伐材利用量 m3 3,094 → 3,867	3,194	3,344	3,494	3,694	3,867	
							3,321					
						104%						
						間伐材の生産性 m3/人・日 3.3 → 4.0	3.6	3.6	3.8	3.8	4.0	
							2.8					
						78%						
優良種苗の確保	コンテナ苗生産基盤施設等の整備	コンテナ苗生産基盤施設等の整備	松居農園株式会社	(20)コンテナ苗生産基盤施設等	平成29年度 (H28繰越)	コンテナ苗の生産量(千本) 0 → 50	50	-	50	-	50	
							61					
						122%	-					
木材利用及び木材産業体制の整備推進	木質バイオマス利用促進施設の整備	木質バイオマスエネルギー利用施設整備	長浜市	(15)木質バイオマスエネルギー利用施設装置	平成29年度	木質バイオマス利用量(m3) 0 → 450	450	450	450	450	450	
							231.8					
							52%					
						施設の効率性(m3/千円) 0 → 0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	
							0.01					
	50%											

(注)

- 「個別指標」の欄には、個別指標のほか目標値を記入すること。
- 「達成状況」の欄には、上段に目標値に対する各年度の実績を、下段に達成率(実績/各年度ごとの目標値)を記入すること。なお、製品出荷量実績におけるJASの各付率または入荷量に占めるJAS製品の割合の報告を要する場合は、達成率の下に括弧書きで記入すること。各年度ごとに目標値を設定している場合は、最上段にそれぞれ記入すること。
- 報告年度については、本要領第7の2若しくは第9の3に基づくこと。
- 利用料等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金を徴収する施設ごとの実績についても記入すること。
- 木造公共建築物の整備により整備する施設においては、原則として施設利用者に対してアンケートを行うこと等により施設の波及効果を調査することとし、その集計結果を達成状況報告の提出の際に添付すること。
なお、アンケートの内容には、以下の(1)~(3)を含めること。
 - 当施設の利用で木材利用の意義や木の良さについて理解が深まりましたか(深まった、深まらない(その理由)、わからない)。
 - 国、地方公共団体はこのような木造公共施設の建設を促進すべきですか(そう思う、そう思わない(その理由)、わからない)。
 - ご自分が住宅を建てる場合、地域材を使用したいと思いますか(この施設を見てそう思うようになった、以前からそう思っていた、そう思わない(その理由)、わからない)。
- 木質バイオマス利用促進整備のうち、事業計画書の備考欄に「未利用材を利用」と記載したものについては、「達成状況」欄に木質バイオマス利用量の実績の上段へ、その内数として未利用材利用量を()書きにより記載すること。

(2) 収支実績

(滋賀県)

メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度	項目	目標値	報告年度					備考	
							運用開始年度	1年目 (平成30年度)	2年目 (令和1年度)	3年目 (令和2年度)	4年目 (令和3年度)		目標年度 (令和4年度)
高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	滋賀南部森林組合	森林整備型	平成29年度	収入	62,884	66,543	64,756					単位:千円
					支出	61,764	68,860	68,378					
					収支差	1,120	-2,317	-3,622					
					収入のうち 公的資金等	28,000	33,467	31,410					
コンテナ苗生産基盤施設等の整備	コンテナ苗生産基盤施設等の整備	松居農園株式会社	(20)コンテナ苗生産基盤施設等	平成29年度 (H28繰越)	収入	9,350	1,801	9,744	-		-		単位:千円
					支出	5,507	816	6,176	-		-		
					収支差	3,843	985	3,568	-		-		
					収入のうち 公的資金等	0	0	0	-		-		

(注)

1 「収支実績」については、以下の施設について記載すること。

ア 収支を伴う施設

- (1) 木材製材施設
- (2) 集成材加工施設
- (3) プレカット加工施設
- (4) 丸棒加工施設
- (5) 杭加工施設

- (6) 木材加工施設
- (7) 木材材質高度化施設
- (8) 特用林産物生産施設
- (9) 特用林産物加工流通施設
- (10) 廃床等活用施設

- (11) 木材集出荷販売施設
- (12) 森林バイオマス再利用促進施設
- (13) 木質エネルギー等利用促進施設
- (14) 木質バイオマス供給施設
- (15) 合・単板加工施設

- (16) 品質向上・物流拠点施設
- (17) チップ加工施設
- (18) 新しい木材活用のための加工供給施設
- (19) 直交集成板加工施設
- (20) コンテナ苗生産基盤施設等

なお、利用料金等を徴収する施設を整備した場合は、施設全体の実績のほか、利用料金等を徴収する施設ごとの実績についても記入すること。

イ 林業機械作業システム整備により導入した林業機械(以下、「林業機械」という。)

2 「施設等区分」については、上記1のアに該当する場合は(1)～(15)を、1のイに該当する場合は【森林整備型】、【素材生産型】の別を記載し、機種についても記載すること。

3 項目の「収入のうち公的資金等」欄には、収入のうち市町村の一般財源や森林組合の他事業からの流用等施設の運営による収入以外の収入を記入すること。(収入の内数)

4 「目標値」の欄には、事業計画書の作成段階における収支計画を記入すること。なお、林業機械については、導入した林業機械による素材生産事業等に係る収支計画を記入すること。

5 「報告年度」は、本要領第7の2に基づきこととし、実績を各年度ごとに記入すること。

6 「目標年度」の欄には、目標年度の収支を記入すること。

7 「収入」は、販売額又は利用料等とすること。

8 「支出」は、固定経費及び変動経費の合計とし、減価償却費等支出に計上すべきものを正確に積み上げること。

(3) 個別事業の評価及び今後の課題とその解決策

目標	メニュー	事業種目	事業実施主体	施設等区分	設置年度及び目標年度	個別事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
森林整備の推進	高性能林業機械等の整備	林業機械作業システム整備	滋賀南部森林組合	森林整備型	平成29年度 令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ・グラップルを導入したことにより、素材生産量については、目標値を達成することができた。 ・森林組合における搬出作業システムが確立していないなど、労働生産性アップにはつなげることはできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、搬出間伐等の取組を推進し、素材生産量の拡大を図るとともに、現業職員に対して、生産性向上にむけた研修会を実施するなど、労働生産性向上を図る。
木材利用及び木材産業体制の整備推進	木質バイオマス利用促進施設の整備	木質バイオマスエネルギー利用施設整備	長浜市	(15)木質バイオマスエネルギー利用施設装置	平成29年度 令和4年度	<p>下記理由により初年度の達成状況が低調となった</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月から供用開始したため、4月の1カ月間は稼働していなかった ・H30/9月～H31/1月まで台風21号により露天風呂が故障したため、この間施設を稼働することができなかった 	<p>適切な施設管理により引き続き安定的に木質バイオマス利用を推進し、地域材の利用拡大を図る</p>

(注)

- 1 事業実施主体が導入した施設等区分ごとの目標年度における評価等を記入すること。但し、(1)施設の利用状況における実績(達成率)が実施要領第9の1に定める低調である場合においても作成すること。
- 2 「設置年度及び目標年度」欄は、上段に設置年度、下段に目標年度を記入すること。